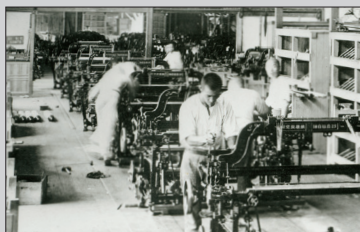


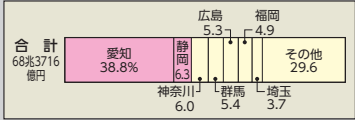
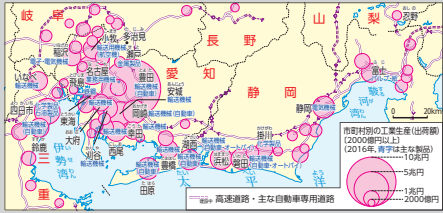
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.224-225 中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏
2. 目標 (1) 中京工業地帯の発展の経緯や、現在の特色について理解できる。
(2) 名古屋大都市圏の広がりや、交通網による他地域とのつながりについて理解できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・中京工業地帯で生産が盛んな工業製品を理解している。 ・名古屋大都市圏の形成について、中京工業地帯の位置と広がりや周辺地域とのつながりから理解している。
主体的に学習に取り組む態度	・豊田市を中心とした地域で自動車工業が発展した理由を、産業の移り変わりや人々の工夫、周辺地域との結び付きに着目して主体的に追究しようとしている。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)						
導入	1. 「ハイブリッドカーの生産ライン」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. この地域で自動車の生産が盛んな理由を予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.224 1  p.220 1 自動車工場や自動車の輸出港の場所を地図帳で確認してみよう。 この地域で、自動車の生産が盛んになった理由を予想してみよう。	○ 「ハイブリッドカーの生産ライン」の写真を題材にし、名古屋港や自動車工場の位置を地図帳で確認させながら、本時への導入を図る。 ○ この地域で自動車の生産が盛んな理由を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。						
学習課題：名古屋を中心とする地域では、どのようにして自動車などの輸送機械工業が盛んになったのだろうか。									
展開	3. 名古屋市を中心とする地域で輸送機械工業が発展した経緯を理解する。	 p.224 2 <table><thead><tr><th>江戸時代</th><th>第二次世界大戦の前後</th><th>現在</th></tr></thead><tbody><tr><td>(例) 周辺の農村で綿花の栽培が行われ、繊維工業が発展した。</td><td>(例) 織物機械を作る技術を土台にして、自動車の生産が始まり、第二次世界大戦後に大きく発展した。</td><td>(例) 内陸部の自動車工場と臨海部の重化学工業が一体となって発展し、日本最大の工業地帯になっている。</td></tr></tbody></table> 輸送機械工業は、いつごろから、どのように発展してきたのだろうか。	江戸時代	第二次世界大戦の前後	現在	(例) 周辺の農村で綿花の栽培が行われ、繊維工業が発展した。	(例) 織物機械を作る技術を土台にして、自動車の生産が始まり、第二次世界大戦後に大きく発展した。	(例) 内陸部の自動車工場と臨海部の重化学工業が一体となって発展し、日本最大の工業地帯になっている。	○ 学習プリントを活用し、名古屋市を中心とする地域の産業の発展の歩みをまとめさせる。 ◆ 古くからの綿花栽培を基に繊維工業が発展してきたが、さらに織物機械を作る技術が土台となって、自動車工業に発展してきたことを理解させる。
江戸時代	第二次世界大戦の前後	現在							
(例) 周辺の農村で綿花の栽培が行われ、繊維工業が発展した。	(例) 織物機械を作る技術を土台にして、自動車の生産が始まり、第二次世界大戦後に大きく発展した。	(例) 内陸部の自動車工場と臨海部の重化学工業が一体となって発展し、日本最大の工業地帯になっている。							

展 開	4. 日本最大の工業地帯である中京工業地帯の広がりと製品の特徴を理解する。 5. 工業製品の輸送ルートに着目し、他地域との結び付きについて考える。 6. 工業の発達を背景に、名古屋市を中心に名古屋大都市圏が形成されたことを理解する。	 合計 68兆3716億円 愛知 38.8% 静岡 6.3% 岐阜 5.3% 福岡 4.9% 神奈川 6.0% 群馬 5.4% 埼玉 3.7% その他 29.6% p.224 3  市町村別の工業生産(10億円) (2000億円以上) (2016年、年平均主な製品) 10億円 5億円 1億円 2000億円 p.225 5 中京工業地帯では、どの工業が盛んなのか読み取ってみよう。   p.225 7 地図帳 p.113 自動車工場の分布の特色を確認し、自動車以外で生産が盛んな工業製品を挙げてみよう。  地図帳 p.113 生産された工業製品は、どのような輸送ルートで出荷されるのだろうか。  p.225 8 名古屋大都市圏とは、どのような範囲を示しているのだろうか。 名古屋大都市圏が発展してきた要因を挙げてみよう。	○ 中京工業地帯で盛んな工業をとらえさせる。 ○ 自動車工業が輸送機械工業に分類されることを確認させる。 ◆ 中京工業地帯では、輸送機械工業が盛んであることを読み取らせる。 ◆ 地図帳から、自動車の組み立て工場の周りに関連工場が立地していることに気付かせる。 ◆ 自動車以外にも、鉄鋼、石油製品、化学製品、電子機械、ロケットなど、さまざまな工業製品が生産されていることを理解させる。 ○ 生産された工業製品の輸送ルートを考えさせる。 ◆ 東名高速道路や名神高速道路、名古屋港、中部国際空港など、多様な輸送ルートがあることに気付かせる。 ○ 名古屋大都市圏の範囲を地図帳などで確認させる。 ◆ 名古屋市と交通網や経済の結び付きが強い、岐阜県や三重県の一部までを含む地域であることを理解させる。 ◆ 名古屋大都市圏は、東京大都市圏と京阪神大都市圏のほぼ中間に位置し、東京や大阪のほか、全国各地と結び付いていることを理解させる。
整 理	7. 本時のまとめをする。 8. 学習課題への振り返りの活動を行う。	名古屋を中心とした地域で自動車工業が発展した理由を説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ 綿花栽培から発展した織物機械の技術や国内における名古屋の位置、交通の発達などに着目して説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」を記入させ、「学習前の予想」と比較させる。